

2202 年 6 月 29 日

横浜市 中川地区センター運営委員会報告

中川地区センターの運営委員会が 6 月 27 日(月)当センター研修室で開催されました。

冒頭、当センターの指定管理者である NPO 中川コミュニティグループ理事長大貫芳夫氏が辞任され、7 月 1 日付けで後任に小泉正彦氏(中川連合自治会長)が就任されることが決定された旨報告された。

地区センターは、地域住民が自らの生活環境向上ため自主的に活動するとともに、スポーツ、レクリエーション、クラブ活動等を地域住民の誰もが気楽に利用することが出来る場で、地域の相互交流を育てて行くことを目的としている(横浜市地区センター条例)。泉区には当センターの他、立場地区センター、下和泉地区センター、上飯田地区センターの 4 センターがある。

小泉新理事長は「当センターは中川、緑園、新橋、白百合地域の皆さんの健康、福祉の向上と快適な地域社会の実現に向け活動・運営をしており、コロナなど先の見えないこともあります、当センターの役割を自覚し、その実現に向け努めて参りますので、関係の皆さまのご協力をお願いします。」と挨拶していました。

昨(2021)年度の運営状況について、利用者数は 54,571 名(男 36.3%、女 63.7%)と 2020 年度比 162.1%と増加したが、2019 年度比では 54.2%、2018 年度比 47.8%の状態。利用部屋の稼働率では体育室 98.1%、小会議室 87.2%と堅調だが、料理室 3.8%、和室(大)23.2%、工芸音楽室 41.2%と感染症拡大防止策の影響が大きかった。利用料収入・自主事業収入の減少がある一方、水光熱費・設備保全費の増加があり、今期は赤字決算となり、繰越金でまかなった。

当期間中に、無線 LAN(WiFi)が中会議室と研修室に設置完了し、利用登録の上、利用可能となり、コロナ禍の中、有効に利用が始まっている。

今(2022)年度は、自主事業として、脳トレ体操、楽しくダンス de エクササイズなどの健康増進、おもしろ科学教室など子ども向け事業、手造りしめ縄飾りなど一般向け講座など 30 を越える自主事業の計画が立てられている。また、コロナの状況にもよるが、主要事業として、クリスマス会(12 月)、小学生ドッジボール大会(2 月)、作品実技発表会(3 月)も実施予定としている。

これらの運営を円滑に推進するため、運営委員会を設け、中川、新橋、緑園、しらゆり連合自治会から各 1 名、スポーツ推進(中川、新橋)、青指(中川)、岡津小学校長、新橋小学校長、利用団体代表(2 名)、ボランティア代表の合計 12 名で構成されている。

昨年度から 2 年間 緑園地域代表の当運営委員
緑園六丁目 江尻哲二